



和(家積萬成) 山田 輝元

編集・発行/ 三重県障害者社会参加推進センター 〒514-0113 津市一身田大古曾670-2 TEL (059) 232-6803 E-mail: suishin.c@mie-kensinren.or.jp
公益社団法人 三重県障害者団体連合会 三重県身体障害者総合福祉センター内 FAX (059) 231-7182 URL http://www.mie-kensinren.or.jp



ご挨拶 ～公益社団法人として～

公益社団法人 三重県障害者団体連合会 会長 山本 征雄

未曾有の被害を出した東日本大震災から1年余りが過ぎた今、当連合会は平成23年12月18日に開催された三重県公益認定等審議会において、「認定の基準に適合する」と認められ、「公益社団法人三重県障害者団体連合会」として4月1日からスタートしました。

また、障害者に係わる施策においては、国の障がい者制度改革会議や総合福祉部会の精力的な取り組みの結果、障害者権利条約批准の第一歩ともいえる「改正障害者基本法」が成立し、障害者総合福祉法の骨格に関する総合福祉部会の提言（骨格提言）が取りまとめられ、障害者自立支援法を改正し「障害者総合支援法案」として国会へ提出し、「障害者優先調達推進法案」などと共に6月20日の参議院本会議で成立しました。

現在は、障害者自立支援法の関係法律の整備に

関する法律、いわゆる通称（つなぎ法）が制定されていて、平成23年10月及び平成24年4月からの施行下にあります。同時にサービスを受けるにあたっては、私どもも介護保険のように事前に「計画相談」を受けることが必要で、本年から3年間で段階的に条件整備が進められています。

当法人は「障害はすべての人に起り得る（2001年6月WHO提唱）」現代社会にあって、「当事者のことは当事者を抜きに、何も決めない（Nothing about Us, Without Us.）」の取り組みのもと、誰もが地域で共に生活できるノーマライゼーション社会の実現を目指して、国、県、市町をはじめ社会福祉協議会や各種の関係する団体と連携し、協働し、協創してまいります。

結びにあたり、旧来に倍する一層のご指導・ご鞭撻の程をお願い申し上げます。

平成24年度障がい者社会参加促進事業関係

1 三重県障害者社会参加推進センター委託事業

団体名	事業名
三重県障害者団体連合会	障がい者相談員研修
	身体障害者補助犬育成事業
	盲ろう者向け通訳・介助者養成研修事業
	盲ろう者生活訓練等促進事業
	声の「ふれあい」発行事業
	指定居宅介護事業者情報提供事業（ガイドヘルパーネットワーク事業）
	障がい者スポーツ教室開催
	カローリング教室
	フライングディスク教室
	グラウンドゴルフ教室
	ボウリング大会（教室）
	ゲートボール大会（教室）
	障がい者週間普及啓発事業
	盲ろう者コミュニケーション支援事業
	障がい者芸術文化祭開催事業
三重県視覚障害者協会	障がい者スポーツ教室開催
	卓球教室
	グラウンドゴルフ教室
	視覚障害者ボウリング教室
	障害別スポーツ大会選手育成強化事業
	全国フロアバレーボール大会東海地区予選
	視覚障害者社会人卓球大会
三重県聴覚障害者協会	障害別スポーツ大会選手育成強化事業
	東海地区聴覚障害者体育大会

団体名	事業名
	聴覚障害者バレーボール東海地区予選
	全国ろうあ者体育大会
三五会	オストメイト社会適応訓練事業（膀胱機能障害）
友愛会	オストメイト社会適応訓練事業（直腸機能障害）
三重心臓を守る会	心臓機能障がい者社会適応訓練
三重県ことばを育む会	言語療育訓練
三重県肢体不自由児（者）父母の会	肢体不自由児（者）体験学習交流会
三重県脊髄損傷者協会	脊髄損傷者生活訓練
三重県友会	音声機能障がい者発声訓練・指導者養成研修事業
三重県知的障害者育成会	地域レクリエーション教室
三重県知的障害者福祉協会	障がい者スポーツ教室開催
	知的障害者ソフトボール大会
	障害別スポーツ大会選手育成強化事業
	知的障害者全国ソフトボール大会予選
三重県精神保健福祉会	指導者研修会
	「あゆみ」発行事業

2 その他の社会参加事業

団体名等	事業名
精神障害者ボランティア団体連絡協議会	精神障がい者ボランティア団体広域的な社会参加促進支援事業
三重県厚生事業団	障がい者スポーツ推進環境整備事業
重症心身障害児（者）を守る会	重症心身障がい児（者）療養指導研修事業
3 指定管理者制度により実施の社会参加推進事業	
団体名等	事業名
視覚障害者支援センター	点字三重等発行事業
	点字即時ネットワーク事業
	視覚障害者生活訓練事業
	点訳奉仕員養成事業
	朗読奉仕員養成事業
	ITサポートセンター事業
	視覚障害者情報支援事業
	小中学生普及啓発事業
聴覚障害者支援センター	字幕映像ライブラリー製作・貸出事業
	手話通訳者・要約筆記者養成研修事業
	手話通訳者・要約筆記者派遣事業
	盲ろう者通訳介助者派遣事業
	聴覚障害者生活訓練事業
三重県身体障害者総合福祉センター	障害者スポーツ・レクリエーション大会開催
	全国障害者スポーツ大会派遣
	スポーツ指導員養成研修開催事業

三重県障害者社会参加推進協議会団体

三重県知的障害者育成会

待ちに待った障害者虐待防止法

世間を騒がせたアカス紙器やサングループの虐待事件を持ち出すまでもなく、自分を守る力の弱い知的障害者に対する虐待は後を絶ちませんでした。

そこで、育成会関係者は長年にわたって障害者虐待防止法の制定を願い、各方面に訴えかけましたが、成立の期待虚しく、政局にまみれ何度も流れてきました。やっと制定がかない、今年の10月に施行されることになりました。今後は、都道府県、市町村での体制整備に期待するところです。

三重県でも、県内市町の担当者会議を開催するなど準備を行ったと聞いています。中でも、市町村には虐待の通報に対して見過ごしが許されず、素早い対応が求められています。しっかり機能できる体制を強く望みます。さらに、緊急に保護する体制の整備が求められます。10月までに準備が間に合うのでしょうか。

その前にまずは、虐待の定義の周知が必要でしょう。その上で、決して障害者への虐待は許さないという意識の徹底を図ることが欠かせません。いじめと虐待の違いもあります。いじめは、同輩でも成立しますが、虐待は上下関係から起こることによって、この度の法律の制定から学校でのいじめが除外されました。この部分については、異論があります。知的障害者の場合を考えると同輩であっても上下関係におかれてしまうことは十分に想定できます。今回の制定には、学校以外にも議論が分かれるところは積み残されました。今後の議論を待たなければなりません。

しかし、学齢期のいじめから二次障害を負うこともありますので、待てない思いの人もたくさんいます。早期の結論を臨みます。

育成会関係者は、親も虐待をすると認めつつ、虐待を許さないと発信し続け、併せて「あなたは大丈夫？親が虐待に気づくためのハンドブック」を編纂し、ワークショップ開催用の資料とし、「みんなで知ろう・考えよう障害者虐待防止法」を発行してきたことを付記しておきます。

相談支援体制の整備を求める

障害者制度改革推進会議では、障害福祉制度の利用にあたって、知的障害者の意思決定を如何に確保するか整理できませんでした。

いわゆるつなぎ法といわれる改正支援法では、相談支援体制の整備が今まで以上に強く求められています。これほど地域格差の大きい問題はありません。相談支援において如何に障害者の思いを受け止め、決定権を支援していくかが鍵となります。

しかし、県内の整備状況はお寒い限りです。

今国会で「障害者総合支援法（仮称）」が衆議院を通過し、連休明けにも参議院で可決し、成立すると予想されましたが、税の一体改革という政局に翻弄され、その成立が危ぶまれています。この原稿が日の目を見る頃にどうなっているのか。6月19日が鍵だといわれていますが…その新法では、今以上に相談支援が重要性を帯びてきます。

いきなり助走（ホップ・ステップ）もなく高みにジャンプできるわけではありません。来年度4月には、一部を残し施行されるといわれる新法を前に、立ち止まっているわけにはいきません。私たちが、それぞれ住まう自治体との協働の場である地域自立支援協議会で声を大にして相談支援の充実を求めているのであれば前へ進めません。

知的障害者相談員の役割が改めてクローズアップされます。育成会としては、知的障害者の意思決定に際し、相談員一人ひとりがスキルアップして支援できる体制を組まなければならないと考えます。また、成年後見制度において選挙権剥奪などの欠格条項が災いして利用促進が阻まれてはいますが、現状で唯一知的障害者の権利を守る制度の課題の解決求め、声を発し続け、様々な制度を組み合わせる権利擁護を図れる体制整備に邁進する所存です。

第46回三重県知的障害者福祉大会

今回は、平成24年9月9日（日）津市の人権センターで行われます。

開催内容は、三重県知的障害者福祉連盟理事会で検討しますが、（社福）全日本手をつなぐ育成会「手をつなぐ」編集委員であり、神奈川県平塚市の職員である又村あおいさんを講師に迎えることが決定しています。

障害者総合支援法や地域自立支援協議会、相談支援事業、障害者虐待防止法など、お聞きしたいことが山ほどあります。講演の内容も含め、理事会の協議待ちです。

詳しくは、後日育成会ホームページでご案内いたします。

事務局 ☎ 059-225-3930 FAX 059-225-3935
HP <http://www12.ocn.ne.jp/~oyanokai/>
E-mail:oyanokai@eos.ocn.ne.jp

三重県精神保健福祉会

優しく・親切で・思いやりのあるメンバー

「アパートに入居しようとしても断られる」「グループホームを建てると言ったら、地元の自治会がなかなかOKを出さない…」

今でも精神障がい者・メンバーのまわりでは日常茶飯事となっています。まだまだ「美し国・みえ」ではないのです。

私たち三重県の精神障がい者家族会は、昭和43年から障がいに対する誤解・偏見をなくすために研修会やイベント（三家連大会）を開催してまいりました。

この数十年の経験の中で、正しい理解を広めるにはどうしたらいいのか、精神科医の先生方、専門家の皆様からのお話も伺いました。

私たちはその中で障がいの当事者、メンバーさんと「交流する」ことが一番効果的な正しい理解の普及・促進ではないかと考えております。

「誤解・偏見」のために、医療に結びつくことが遅れる場合も結構多いのです。

精神疾患は「早期」に治療を受ければ一般の病気と同じように必ず回復します。

ともすれば精神障がい者は怖い存在、精神疾患・精神病は怖い病気というイメージがあるかと思いますが、メンバーとの「交流」をつうじて払拭して頂きたいと思っております。

精神の福祉施設は皆さんの来訪をお待ちしております。

精神のメンバーは「優しく、親切で、思いやりのある人」ばかりです。

ぜひ、体感してください！

私たち家族会は誤解・偏見を解消していくための啓発活動をつうじて近い将来、障がい者にとっても「美し国・みえ」と言えるようにしたいと思っております。

事務局 〒514-8567 津市桜橋3丁目446-34
三重県こころの健康センター内
☎・FAX 059-271-5808
E-mail:sankaren@mint.or.jp

三重県視覚障害者協会

視覚障がい者の社会参加の促進のために、私たちがかねてから要望してきた移動支援の個別給付化（同行援護）が、昨年10月から開始されました。

しかし、準備期間が短かったこともあり、地域間格差が生じています。全国一律のサービスを受けることができ、利用者のニーズに応じた支給量が提供され、視覚障がい者にとって十分活用できる制度となるよう取り組んでいきたいと考えています。

昨年3月に発生した東日本大震災から1年以上が経過しましたが、現在もなお、多くの視覚障がい者が仮設住宅で不自由な暮らしをしたり、職を失ったりと不安な生活を強いられています。大規模な災害が発生した際の、情報提供、避難所での支援、被災後の生活基盤の確保などについて明確化が必要です。関係機関に必要な対策を求めていきたいと考えています。なお、この7月には、消防署のご協力も得て、災害時の避難訓練と地震体験車の体験を行う予定です。

県内各地で毎年開催しています「あいふえすた」を今年は10月4日に名張市アドバンスコープADSホールを会場に開催します。式典終了後、青蓮寺においてブドウ狩りをしながら市民の皆様と交流をする予定です。大勢の皆様のご参加をお待ちしています。

最後に、本協会は、三重県から「三重県視覚障害者支援センター」の指定管理を受け、点字図書、点字雑誌、録音図書・録音雑誌の貸し出しや制作、点訳・音訳ボランティアの育成支援、視覚障がい者情報誌「はなしょうぶ」の配信、視覚障がい者の日常生活に関する相談や生活訓練、歩行訓練等を行っていますが、昨年からは利用者の利便性を考慮し、土曜開館を試行しています。特に第3土曜日の「視覚障害者生活訓練等指導員」による相談は好評をいただいています。なお、各事業の詳細につきましては、「はなしょうぶ」をご覧ください。支援センターホームページにも掲載しています。

事務局・購買 ☎ 059-228-3463
点字図書館 ☎ 059-228-6367
IT ☎ 059-213-7300
生活訓練 ☎ 059-213-7301
FAX 059-228-8425
E-mail:mieten@zc.ztv.ne.jp



HP <http://www.zc.ztv.ne.jp/mieten/p/>

三重県聴覚障害者協会

我々聴覚障害者にとって長年の悲願であった、聴覚障害者情報提供施設である「三重県聴覚障害者支援センター」が、今年4月に津市桜橋にて開所しました。三重県聴覚障害者支援センターの看板上掲式と開所式では、三重県鈴木英敬知事や来賓による看板上掲、テープカットが行なわれ、華々しいスタートを切りました。なお、当協会が指定管理者として3年間、このセンターの管理運営を担うこととなりました。

センターは「聴覚障害者の自立と社会参加の促進」を目的として聴覚障害者への情報提供とコミュニケーション支援を行うものです。津市桜橋にある三重県社会福祉会館5階のフロアを改修して、事務室・会議室・ボランティア作業室・相談室・映像編集室・ビデオライブラリー等が設置されています。

これまでは、聴覚障害者やその家族が聞こえについて、または日常生活の相談や聴覚障害児の子育てなどの幅広い相談に、一体どこに行けば良いのか分からず苦しんでいましたが、センターができたことでようやく解決の糸口が見いだせたのではないのでしょうか。聴覚障害や聴覚障害児の子育てに苦しむのは自分だけではないこと、仲間の存在を知るだけでも随分、精神的にも楽になります。相談対応のみならず、生活上の不便やコミュニケーションのバリアを解消できるさまざまな日常生活用具やコミュニケーション支援制度があることを、センターから情報提供することが、聴覚障害者が新しい一歩を踏み出すための支援となります。

また、センターの機能のうち、全国的に注目されているのが災害支援機能です。

阪神・淡路大震災、東日本大震災では、避難所での生活を強いられた被災聴覚障害者への情報提供、心のケアの問題などがありました。このセンターには、災害発生時に、聴覚障害者への情報提供、手話通訳・要約筆記者の派遣によるコミュニケーション支援など、センターが被災聴覚障害者支援の中心となっていくという役割が求められています。

当協会が指定管理者となったことは、「障害当事者が中心となって、障害当事者を支援していく」ことであり、重責でもありますが、大変意義があるものと考えています。これから三重県聴覚障害者支援センターの運営管理、そして県内の聴覚障害者へ

情報提供、支援を行なうべく、全力で邁進していきますので、宜しくご支援の程をお願い致します。

事務局 ☎ 059-229-8540 F AX 059-223-4330

HP <http://deafmie.cocolog-nifty.com/blog/>

E-mail: deaf.mie@viola.ocn.ne.jp

三重喉友会

当会は昭和30年に創立され今年で58年目になります。現在会員数は140名です。種々の疾患のため喉頭摘出の手術を受け発声機能を失った方々のための患者会です。

その方々が第2の声を与えられ、家庭や職場に楽しく復帰されるように発声教室の訓練を受け、通常の会話ができるようになることが目的です。又、会員同志の健康相談や親睦の場としても活発な活動がされています。このような会は全国各県にあり「日本喉摘出者団体連合会」に加盟しています。

各団体は独立しながら互いに協力しております。発声教室は毎月県内の3地域で開催しています。

※北勢

第一水曜日13時～15時 市立四日市病院発声教室

※南勢

第二木曜日10時～12時 伊勢赤十字病院発声教室

※中勢

第三木曜日10時～12時 三重大学病院発声教室
研修会…年1回関西地区で開催され希望者は参加できる。

総会（研修会）…春・秋年2回、三重大学病院で開催され教授による健診、相談があります。年1回1泊研修旅行もあり実生活の体験や親睦を深める場として活用されています。

事務局 ☎・F AX 0595-45-7008（塚本）

三 互 会

去る5月20日にアスト津で総会があり、平成23年度活動報告と決算報告、平成24年度事業計画ならびに予算案が提案され、承認されました。

本年度の研修事業として、学習会を年2回（5月と9月）に、1泊研修旅行を年2回（11月と翌年の3月）実施することになりました。

午後の学習会は三重大学医学部附属病院腎泌尿器外科教授 山田泰司先生による講演があり、講演後、会員からの質問に丁寧にお答え戴きました。

講演では腎臓を守るために、早期発見・早期治

療が大切である事、また、普段の生活や食事では、①肥満防止（適度な食事と運動）、②減塩食、③適切な検診・診察に留意するようにご指導がありました。

当日、出席された三重県立総合医療センター皮膚・排泄ケア認定看護師 大川恵美さんによりストーマ管理についてのアドバイスがありました。

事務局 ☎・FAX 059-245-1699（高）

友 愛 会

元気ですか!不順な天候から解放されやっと例年の夏がやってきたようです。野外での活動を多くしたいものです。

友愛会は、去る5月19日24年度総会ならびに春研修会をアスト津において開催しました。出席は会員はじめ家族、医師、看護師、補装具メーカーでした。

最初に物故者に対し黙祷をしたあと総会に入り23年度事業報告案および23年度決算案、24年度事業計画案および24年度予算案が提案され全会一致で賛成され承認されました。

24年度事業は総会ならびに春研修会5月19日、春宿泊体験研修6月、秋研修会10月、秋宿泊体験研修11月、新会員研修25年3月計画しています。その都度ご案内しますので多数の参加をお願いします。

続いて研修に入り四日市社会保険病院副院長梅枝覚先生の「長寿の話」および三重大学医学部附属病院皮膚・排泄ケア認定看護師藪木彩子さんの「自分に合ったストーマ装具の見つけ方」について講演をいただきました。講演に対する質疑の後閉会しました。

事務局 ☎ 0596-52-5623（豊田）

E-mail:xtkwy255@ybb.ne.jp

三重県ことばを育む会

現状と課題

当会は設立以来、三重県の委託事業「障害者の明るい暮らし事業」として、言葉と発達に問題を抱える子供の保護者に対して、相談会を実施してまいりました。かつて予算も人手も潤沢だった頃は、県内各地で相談会を開催していましたが、ここ数年は年1回、専ら津市での開催です。本来ならば、南北に長く交通の便も悪い三重県ですから、より多く

の市町に赴いて、相談会を開催したいのですが、予算の都合でそれも叶いません。また、人手も深刻な問題です。ここ数年は会員数の減少は無論、会の活動に積極的に参加してくれる会員も少なくなっています。運営を支えているのは、主に言語通級指導教室への通級を終わって何年もたっている古参の保護者さんたちです。

当会は、構音障害、口蓋列、言葉の発達に遅れを持つ子供の親たちが、情報を共有し、連携して教育機関や行政にこれら障害を持つ子供たちへのケアを働きかける目的で、昭和39年に設立されました。設立から半世紀にならんとする現在、障害をもつ児童や保護者を取り巻く環境も大きく変わり、「受身」でいても、各種情報や学校や行政のケアが受けられるようになってきています。もう、親たちは連携する必要がなくなっているのでしょうか。

しかし、相談会には毎回、言葉の発達に不安を持つ就学前の幼児や児童が訪れます。また、通級指導教室数、担当教員の配置などの点で、三重県は後進県です。現状改善のためには、親のまとまった力が必要ですが、さて、今、親たちはそれを必要としているのかどうか…。

今年も、11月10日（土）に相談会と研修会を実施します。場所はサンワーク津を予定しています。

事務局 ☎ 0595-83-5002（福田）

三重心臓を守る会

「24年度の方向」

最近ではネットで情報が得られるためか新入会・会員はかなり減少しました。それで会員は何を求めているのか、これからの活動をどうするか役員と話し合いました。

患者会は情報の提供も重要ですが、『直接会って話す』『電話で話す』ことこそ大切にしていけるべきではないかとの結論に達しました。

そこで、昨年度から始めた希望する地域に役員が出向くミニ茶話会を増やすことにしました。

また、最近気になるのは10～20年以上前に手術した人が、予期せぬ再手術になったケースが見られることです。その様な話はネットには出ていません。患者会の情報です。「先天性心臓病には根治手術はなく、あくまで修復手術と言うべき」という専門医もいらっしゃいます。皆さん気をつけましょう。

6月17日（日）三重大小児科・澤田博文先生による「心臓病のこどもの生活をよりよくする工夫」

講演・相談会を開催しました。

事務局 ☎ 059-229-2506 (油島)

三重県重症心身障害児(者)を守る会

新年度に入りました。今年もよろしくお願ひ致します。昨年末に成立した略称「つなぎ法」は4月1日から施行されました。本会は、身近に起った大きな制度の見直しに対し、これまで以上に正確かつ迅速な情報提供を心掛けて参ります。

さてこのたび、本会の東海北陸ブロック大会を当県が担当致します。実施は24年10月11日～10月12日に伊勢市で行います。すでに実行委員会を発足させ準備を行っております。

皆様のご参加をお願い致します。

○その他の実施行事 (平成23年11月20日以降)

- | | | |
|----------|---------------|---------|
| 1 / 22 | みえ歯ートネット研修会 | |
| | 松本歯科大学 松尾准教授 | |
| | 三重県歯科医師会館 | 参加者 90名 |
| 2 / 19 | みえ歯ートネット研修会 | |
| | 長崎県歯科医師会 長田先生 | |
| | | 参加者 80名 |
| 2 / 25 | ・在宅交流セミナー | |
| | 熊野福祉会館 | 65名 |
| | ・一泊保養事業 | 77名 |
| 3 / 9～10 | 県委託事業 一泊保養 | |
| | 於 猪の倉温泉 | 参加者 33名 |

○平成24年度 実施予定

- | | | | |
|----|------------|----------|-------|
| 1. | 7 / 16～17 | 全国大会 | 〔千葉市〕 |
| 2. | 11 / 10～11 | ブロック大会 | 〔伊勢市〕 |
| 3. | 未 定 | 在宅交流セミナー | |
| 4. | 未 定 | 一泊保養事業 | 〔熊野市〕 |
| 5. | 未 定 | 一泊保養事業 | 〔湯の山〕 |
- 事務局 ☎ 0595-68-1702 (福西)

三重県肢体不自由児(者)父母の会連合会

◎平成23年度主な事業

①東海・北陸ブロック三重大会開催

- ・期 日：7月2日～3日
- ・場 所：ホテル志摩スペイン村
- ・参加者：東海7県 260名

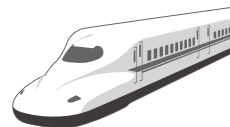
②障害者の明るいくらし

- ・期 日：7月3日
- ・場 所：ホテル志摩スペイン村
- ・参加者：84名

◎平成24年度主な事業

(1)東海・北陸ブロック岐阜大会

- ・期 日：6月2日～3日
- ・場 所：岐阜都ホテル



(2)障害者の明るいくらし

- ・期 日：7月15日 (日)
- ・場 所：東山動物園、リニア・鉄道館

(3)県肢連福祉大会

- ・期 日：10月20日～21日
- ・場 所：松阪市飯高町「森のホテルスメール」

☆当会会長交代のお知らせ (平成24年度より)

伊藤隆二会長は、退任され相談役に就任されました。10年間ご苦労様でした。後任には、副会長・四日市父母の会会長の鈴木錠平氏が就任されました。

前任者同様、皆様のご指導ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

◇当会の活動等、詳しく知りたい方は下記へ。

事務局 ☎ 059-333-0005 (鈴木)

三重県脊髄損傷者協会

三重県脊髄損傷者協会は、公共交通機関による外出訓練を行い、車いすを利用して公共の乗り物で出かける楽しさや、不便さ、対応の仕方などを少しでも利用する側はもちろん、公共機関にも理解を深めてもらえるような活動をしています。大都市と比べまだまだ三重県においては電車、バスの駅などバリアフリー化がゆきとどいておらず、利用できる部分のほうが少ない状況を改善することが、これからの障害者の身近な乗り物として、通勤や、買い物、通院の足として自由に外出できるそのような社会を目指し社会参加促進事業をしていきたいと思ひます。

三重県脊髄損傷者協会(社)全国脊髄損傷者連合会三重県支部主催による福祉車両の手動運転装置及び各種運転装置の無料点検整備を、株式会社ニッシン自動車工業と平成24年6月24日(日)午前10:00～午後3:00三重県身体障害者総合福祉センターにおいて行いました。

<第11回(社)全脊連全国総会に参加して>

社団法人全国脊髄損傷者連合会全国総会で6月1日～3日青森へ行ってきました。最近は公共交通機関も良くなり割りとスムーズに青森まで行けました。全国から青森へたくさんの車いすの方が見えるので少し遠回りをして行きました。何故かと言うと、当日会議があり15時までに青森のホテルへ着かな

ければいけないという制約があり、名古屋を始発の新幹線で行けば間に合うのですが、東京より先の東北新幹線は、青森行きが1時間に1本しかなく、他の車いすの方が予約して乗れなければ間に合いそうもない。そこで県営名古屋空港から青森空港行きの飛行機に切替えました。青森行きは1日2往復、当然午前の便でしか間に合わない。名古屋の同じ青森の総会に行く人が予約したと聞き、それでは無理だと思った。考えたところ、セントレアから函館空港行きが出ていることを見つけ、時間的なことを調べて函館空港からタクシーで函館駅へ行き、そこから特急白鳥で12時過ぎに青森駅に行けることが分かった。早速、ANAのインターネット予約をし、今は車いす搭乗予約も割りと簡単で、必要な身体状況も入力できた。空港に付いたらすぐに対応してもらい、函館駅へ電話を入れて、特急も車いす対応の席を予約しておいたので（当然ですが往復です）スムーズに乗ることが出来て、無事初めての青函トンネルを抜け青森へ時間通り到着しました。帰りもスムーズに来る時の逆でストレスもなく帰れました。

最近では車いすでも簡単に自分で考えて公共交通機関を利用していけるものだと今回改めて良くなった事を実感した次第です。

事務局 ☎ 059-386-9733 (松田)

三重県知的障害者福祉協会

三重県社会参加推進事業により、知的障害のある人たちの社会参加への機会を種々提供いただいていることに心より感謝とお礼申し上げます。

当協会では、毎年この事業の一環として利用者のソフトボール大会を実施いたしております。今年は、全国大会の東海北陸予選に三重県いなば園の選手の皆さんが参加されることになっております。

県のソフトボール大会では、単に全国大会への予選会としてだけでなく、参加される方がソフトボール大会をとおして互いに交流し、1日楽しく過ごせるようメジャーリーグとエンジョイリーグを設け、実施しています。

合わせて、ボウリングやフライングディスク等への参加も促進し、可能な限り施設利用者がスポーツに親しめるよう取り組んでおります。

また当協会独自の事業として、利用者交流事業を企画し、映画鑑賞会、音楽鑑賞会などを実施し、交流や社会参加の機会が広がるように努めておりま

す。

4月から改正障害者自立支援法（つなぎ法）が施行されたこと報酬単価の改正と加算制度の変更が行われたこと、10月から障害者虐待防止法が施行されること、そして来年度から「障害者総合支援法」の一部が施行される予定になっている事など障害福祉をめぐる動きは先行き不透明かつ余談を許さない状況にあると言えます。

当協会では、様々な事業を実施するとともに、こうした情勢の変化にも火急、速やかに対応すべき研修や活動を行っていきたくと考えております。

つきましては、関係団体の皆さまのご支援ご協力、そしてご指導を宜しくお願い致します。

事務局 ☎ 059-268-1115 (まりも苑・本弘)

三重県身体障害者総合福祉センター

「団体競技チーム募集」のお知らせ

平成33年に開催予定の全国障害者スポーツ大会・三重県大会に向けて、県内にない団体競技の選手を募集しています。経験者・未経験を問いません。仲間と共にスポーツを楽しみませんか。

【募集团体競技】

知的ソフトボール（男女混合）、知的フットベースボール（男女混合）、聴覚バレーボール（男）、（女）

※申し込み方法等、詳細は事務局までお問い合わせください。

「第15回三重県障がい者スポーツ大会」のお知らせ

三重県身体障害者総合福祉センターは、障がい者スポーツ大会を開催しています。この大会は翌年度の全国障害者スポーツ大会の予選も兼ねています。日頃の成果を存分に発揮して、是非全国大会出場を目指してください。

【陸上競技】

日 程：平成24年9月15日（土）
（予備日）平成24年9月16日（日）

会 場：三重県営総合陸上競技場
（伊勢市宇治館町510）

【フライングディスク競技】

日 程：平成24年11月3日（土）
会 場：三重県身体障害者総合福祉センター
（津市一身田大古曾670-2）

【ボウリング競技】

日 程：平成24年12月1日（土）
会 場：津グランドボウル
（津市大字垂水下境915-1）

【卓球競技】

日 程：平成25年1月27日（日）

会 場：三重県身体障害者総合福祉センター
（津市一身田大古曾670-2）

※各競技の申込期間は、開催日の約2ヶ月前から1ヶ月前までとなっています。詳細は事務局までお問い合わせください。

「第12回全国障害者スポーツ大会

“ぎふ清流大会”のお知らせ

日 程：平成24年10月13日（土）～10月15日（月）

（派遣期間：平成24年10月11日～10月16日）

事務局：三重県身体障害者総合福祉センター・
経営企画グループ

☎ 059-231-0155 FAX 059-231-0356

HP <http://www.mie-reha.jp/>

三重県立特別支援学校長会

学校教育法の一部改正によって平成19年度より「特別支援教育」が法的な位置付けをもってはじめられてから5年が経過し、平成24年度は6年目を迎えます。

この間、特別な支援を必要とする子どもたちへの教育についての理解は深まり、三重県下各地の幼稚園、小学校、中学校などの学校教育の現場では、多くの新しい取り組みが行われ、特別支援教育は着実に進んでいます。

この特別支援教育のはじまりにあたり、平成19年4月に文部科学省は「特別支援教育の推進について」という通知を全国の教育委員会などに出しました。

この中では「…特別支援教育は、障害のある幼児児童生徒への教育にとどまらず、障害の有無やその他の個々の違いを認識しつつ様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の形成の基礎となるものであり、我が国の現在及び将来の社会にとって重要な意味を持っている。」と述べられています。

通知の中で特別支援教育の理念について述べたこの部分は、教育に携わる者がひとしく、また、あらためてかみしめるべき内容かと思えます。

三重県立特別支援学校長会としましても、様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会が実現されることを願いつつ、本年度も特別支援教育の推進につとめ、また特別支援学校における教育の充実に取り組んでまいりたいと考えています。

事務局：玉城わかば学園(西世古) ☎ 0596-58-2716

三重県雇用開発協会

社団法人三重県雇用開発協会のご案内

当協会では次の障害者関係事業を行っています。

1. 障がい者就業支援緊急雇用創出事業
2. 雇用促進キャンペーンの展開
3. 障害者雇用優良事業所表彰
4. 障害者多数雇用事業所視察研修
5. 協会広報誌による雇用啓発

その他、新規学校卒業者（大学・短大・高校）の雇用対策事業及び、新規学卒就職者の職場定着対策、さらに高年齢者の雇用の安定に関する事業を実施しています。

お問合せは、三重県雇用開発協会

津市島崎町314 三重県島崎会館

☎ 059-227-8030 FAX 059-227-8131

三重ガイドヘルパー連絡協議会

ガイドヘルパーと視覚障がい者とのふれあい研修会参加者募集のお知らせ

ガイドヘルパーと視覚障がい者が、互いの理解を深め知識、技術の向上を図り、より安全な安心できるガイドヘルプ活動が出来るよう、ふれあい研修会を開催します。

日 時 平成24年7月22日（日）

10時15分～14時30分

会 場 三重県身体障害者総合福祉センター
大研修室

参加費 500円（昼食代）

内 容 講義、昼食、交流、懇談

参加者 視覚障がい者 ガイドヘルパー

申込期日 平成24年7月13日（金）

会場へは、津駅西口発9：40夢が丘団地行きバスがあります。

希望者（視覚障がい者）には、津駅でガイドヘルパーが対応します。

申し込み 問合せ先

公益社団法人

三重県障害者団体連合会

〒514-0113 津市一身田大古曾670-2

☎ 059-232-6803 FAX 059-231-7182



平成24年度障害者福祉フォーラム三重開催 (第58回三重県身体障害者福祉大会)

目 的

障害者を取り巻く環境は、「障害者権利条約」の批准に向けた国内法の整備が進められ、平成25年施行に向けて、障害者制度改革の核心となる「障害者総合支援法」及び「障害者差別禁止」の法案審議など改革の本丸といわれる最も重要な時期を迎えているが、こうした議論の中心に「私たちのことは私たち抜きで決めないで」の合言葉のもと、障害当事者の声を施策に生かす好機を得ている。

しかし、「障害者総合福祉法」の制定に対し、障害者が多数を占める障がい者制度改革推進会議の「総合福祉部会」において、障害者自立支援法の反省を踏まえ、障害のある当事者が社会の対等な一員として安心して暮らすことのできる法制となる提言を行ったが、国が示した「障害者総合支援法」の原案では、自立支援法違憲訴訟団と基本合意した自立支援法の「廃止」ではなく、「一部改正」であるなど引き続き検討すべき事項が多々ある。

私たちはこのような厳しく大きく変化する状況下であるが、県内すべての障害者を対象として、障害者の福祉増進と社会参加推進のため、障害者の取り巻く社会環境の充実に向けて、幅広く県民の皆様理解を求め、ノーマライゼーションの理念が浸透する社会の実現を目指して、障害のある人もない人も地域で生き生き暮らすことのできる社会の実現に向けて、広く障害者はもとより行政や団体、多くの県民を対象とした啓発を目的とする。

日 時

平成24年11月25日(日) 開会 午前11時より

会 場

三重県営サンアリーナ(サブアリーナ)

〒516-0021 伊勢市朝熊町鴨谷 4383-4

TEL 0596-22-7700 FAX 0596-22-7710

事業内容

- (1) 第1部 (11時～12時)
第58回三重県身体障害者福祉大会
- (2) 第2部 (13時～15時)
平成24年度障害者福祉フォーラム三重

福祉大会スローガンの募集

内 容 身体障害者の自立と社会参加の推進に社会の共感が得られるもの

応募資格 三重県内に在住し、障害者に理解のある人

応募方法 郵便又はFAXにて、「スローガン、住所、氏名、年齢、電話番号、職業」を記載のうえ、下記まで送付してください。

送付先 〒514-0113津市一身田大古曾 670-2
公益社団法人三重県障害者団体連合会
TEL 059-232-6803 FAX 059-231-7182

締切り日 平成24年8月20日(月)

*入選作品は、福祉大会の会場に掲示し、表彰します。

●三重県内全域を活動区域として担当される障害者相談員です。

身体に障がいを持つ方の相談を受けたり、助言したりします。

なお、平成24年度から身体・知的障害者相談員の権限が各市町へ移譲になりました。

お近くの障害者相談員については、お住まいの市町福祉課へお尋ねください。



氏名	団体名	障害区分	電話番号	氏名	団体名	障害区分	電話番号
油島千恵子	心臓を守る会	心臓	059-229-2506	奥野 光子	ペースメーカー友の会	心臓	0596-22-0426
長谷川 愛	心臓を守る会	心臓	059-229-1230	西山 幸生	腎友会	腎臓	0596-23-5308
西村 信子	心臓を守る会	心臓	059-255-4661	福地 申大	腎友会	腎臓	0595-48-0877
西井 真織	心臓を守る会	心臓	0596-24-3503	北尾 和子	腎友会	腎臓	0596-22-6730
小野真由美	心臓を守る会	心臓	059-387-3964	塚本 明雄	喉友会	音声言語	0595-45-7008
岩倉 歓治	ペースメーカー友の会	心臓	059-377-3084	大浦 健	喉友会	音声言語	059-326-1068
森本 豊子	ペースメーカー友の会	心臓	059-234-5308	吉仲 力	喉友会	音声言語	0598-29-0263
黒宮 育郎	ペースメーカー友の会	心臓	059-352-1950	福田 和展	ことばを育む会	音声言語	0595-83-5002

あなたも参加しませんか

☆公益社団法人三重県障害者団体連合会では、障害者の社会参加を支援するいろいろな催し物など各種の事業を開催しています。障害者の方であれば、気軽に参加できますので、奮ってご参加ください。なお、詳細・参加申込については下記の連絡先までお問い合わせください。

◆ 平成24年度 公益社団法人三重県障害者団体連合会事業月別計画表 ◆

月別	開催日	行 事	会 場
7月	8日(日)～9日(月)	障害者青年ふれあい交流会(障害者の交流会とレクリエーション)	【ヒルホテルサンピア伊賀】
9月	1日(土)	障害者フライングディスク教室	【県営鈴鹿スポーツガーデン体育館】
	23日(日)	障害者自動車安全運転競技会(交通法規に即した運転技術の競技会)	【三重中央自動車学校】
10月	6日(土)	障害者カローリング教室	【県営鈴鹿スポーツガーデン体育館】
11月	3日(祭)	ザ・チャレンジドゴルフ大会(教室)	【津カントリー倶楽部】
	10日(土)【予備日11日(日)】	障害者グラウンドゴルフ教室	【県身体障害者総合福祉センター】
	25日(日)	障害者福祉フォーラム(第58回三重県身体障害者福祉大会)	【三重県営サンアリーナ伊勢】
12月	15日(土)	障害者交通安全啓発事業(交通安全の研修・啓発)	【いなべ市 員弁コミュニティプラザ】
1月	23日(水)	障害者ボウリング大会(教室)	【桑名グランドボウル】
2月	2日(土)	障害者青年活性化対策事業(障害者の体験発表とカラオケ)	【玉城町保健福祉センター】
3月	2日(土)～3日(日)	三重県障がい者芸術文化祭(障がい者の芸術・歌・作品等)	【鈴鹿市民会館】

☆盲ろう者の自立と社会参加を図るため盲ろう者通訳・介助者養成研修会を開催します。

開催日 8月26日(日)、9月2日(日)・9日(日)・16日(日)・22日(土)・30日(日)

会 場 三重県身体障害者総合福祉センター

☆結婚相談所のご案内

未婚の方で障害者を理解し、結婚を希望する人に出会いの場を提供し、相互理解と結婚問題を積極的に促進することを目的としています。

※申込は、学歴、障害の種別程度は問いませんが、原則として日常用務の足せる方に限ります。

◆結婚相談日(申込等来所は事前予約が必要です。)

奇数月第3日曜日〔5月・7月・9月・11月・1月・3月〕 相談受付時間 10時～12時

◆交流会(事前申込が必要です。)

開催日 11月18日(日)

会 場 三重県身体障害者総合福祉センター(津市一身田大古曾670-2)

参加費 男性、付添い 1,000円(昼食代) 女性は無料

【問合せ先】 〒514-0113 津市一身田大古曾670-2 公益社団法人 三重県障害者団体連合会
TEL 059-232-6803 FAX 059-231-7182 E-mail:suishin.c@mie-kensinren.or.jp

第18回ザ・チャレンジドゴルフトーナメント 厚生労働大臣杯 全国身体障害者ゴルフ大会

全国の身体に障がいを持った方々が、「困難の克服と自立」をコンセプトに、明るい快活な人生の新たなページとするゴルフトーナメントです。

開催日 平成24年11月2日(金)「前夜祭」

平成24年11月3日(祝)

「ザ・チャレンジドゴルフトーナメント」

会 場 津カントリー倶楽部

(三重県津市片田長谷町30)

主 催 NPO法人日本ザ・チャレンジドゴルフ協会

主 管 ザ・チャレンジドゴルフトーナメント実行委員会

後 援 厚生労働省、三重県、津市、日本身体障害者団体連合会、三重県障害者団体連合会等

[参加者募集概要]

競技方法 18Hストロークプレー

参加資格 身体に障がいのある方で
ゴルフをされる方(年齢不問)

募集人員 150名

参加費 18,000円

(プレー代・前夜祭・表彰式パーティ費等を含む)

参加申込 「所定用紙」事務局へ

申込期日 平成24年9月30日(日)

事務局 (申込・お問合せ先)

津カントリー倶楽部内

ザ・チャレンジドゴルフ事務局

〒514-0077 三重県津市片田長谷町30

TEL 059-239-1511 FAX 059-239-1512



◇◇◇◇◇ 災害から学んだ「HELPカード」の取り組み ◇◇◇◇◇

紀宝町身体障がい者福祉会 会長 寺本秀夫

私たちの団体は、年に2回のグラウンドゴルフ大会と親睦会、さらに毎週一回の創作活動や社協行事に参加して協力体制をとっています。その中で、毎月第3木曜日には、美化活動を行って、紀宝町福祉センター周辺の草刈り作業と植木の手入れをしています。

この作業は有償で、町から支払われますが、その一部を紀宝町身体障がい者福祉会へいただいております。このお金が会の活動資金の中に組み込まれ活動を続けております。しかし、心配なことがございます。

美化活動に協力してくれていた人も一人ふたりと減っていき、先細りの状態です。私達は1年1年例外なく年齢を重ねて行き、体の衰えもあります。紀宝町で障害者手帳を受けている数732名、福祉会入会者数155名、入会率21%です。また、入会をお誘いしたのですが、あんなもの何の役にも立たないと云われたこともありました。

入会して良かったという何かがないかと考えて、いろいろな人にアイデアを募っているとき、紀南地域自立支援協議会に出席させていただきました。その場である方から「石川県のHELPカード」を見せていただきました。3月11日の東北大震災で避難された方が、周りの人々によって助けられたこと、勇気づけられたことの話をお聞きします。しかし、困ったこともありました。その中の1つが、毎日飲んでいる薬の問題です。自分がどんな薬を、何時、どれだけ飲むのかははっきり覚えていない、分からないということです。自分の体は自分で守らなければなりません。このカードは障がいのある人の身に不測の事態や何らかの緊急事態が発生した時に、必要な支援を周囲の人に知らせ、適切な対応をお願いを記入したものです。

この「HELPカード」を活用し、より多くの方に

知っていただき、災害時はもちろん、日頃から障がいのある人々への理解が深く浸透し、障がい者にとって暮らしやすい社会に出来たらたいへん嬉しく思います。

カードのことを紀宝町での役員会で話したところ、うちでも作ってみようではないかということになりました。まず、役員だけに作ってもらい不都合がないか検討しました。その後、美化活動に協力してくれる会員にも作ってもらいました。それで不都合がなかったので会員全員に「HELPカード」を作ることを呼びかけました。

東日本の大災害や9月の大水害のこともあって、これは絶対必要なんだと思っています。まだ文書を配布してから2か月くらいです。私たちのHELPカード活動は始まったばかりです。

一人でも多くの命を守る一助となることができれば…と心から願っています。

さらに、この活動が会員の増加につながれば、大変うれしく思います。



市町別手帳交付者数

(平成24年4月1日現在) (単位:人)

市町名	身障手帳 (児・者)	療育手帳	精神保健 福祉手帳	市町名	身障手帳 (児・者)	療育手帳	精神保健 福祉手帳
津市	11,418	1,761	1,463	東員町	869	117	78
四日市市	10,530	1,867	1,381	菟野町	1,467	266	164
伊勢市	6,790	839	585	朝日町	216	40	35
松阪市	6,391	1,022	840	川越町	414	76	48
桑名市	4,528	792	922	多気町	635	103	41
鈴鹿市	6,683	1,169	819	明和町	927	115	64
名張市	3,043	587	582	大台町	570	87	33
尾鷲市	1,271	131	73	玉城町	572	92	41
亀山市	2,098	248	160	度会町	372	39	17
鳥羽市	1,134	155	54	大紀町	645	65	46
熊野市	1,239	175	103	南伊勢町	972	130	65
いなべ市	1,733	272	170	紀北町	1,078	156	78
志摩市	2,699	342	235	御浜町	425	80	32
伊賀市	4,838	662	413	紀宝町	594	67	44
木曾岬町	187	32	26	その他	138		
				県合計	74,476	11,487	8,612

ご協力をお願い

日頃は温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当事業所は、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会協賛のもと、全国的組織で福祉事業を実施しています。皆様のご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

日本身体障害者団体連合会事業所
(問合せ) 電話 (フリーダイヤル)
0120-263-323

第1回三重県障がい者芸術文化祭開催について

障がい者が積極的に社会に出て、音楽・演劇・絵画・書道等の芸術文化に対し、持っている能力を発揮できるよう「三重県障がい者芸術文化祭」を下記のとおり開催します。

この文化祭開催により、障がい者の芸術・文化活動に対する活性化を図り、障がい者の自立と地域社会への参画を推進していきます。

1 開催日時 平成25年3月2日(土)
3月3日(日)

2 場 所 鈴鹿市神戸1-18-18
鈴鹿市民会館

3 参加者 どなたでも(入場無料)

4 展示作品等の内容と募集

(1) ステージ発表

音楽(歌唱・楽器演奏)、演劇、ダンス

*応募対象者は、構成員の半分以上が障がい者である団体とします。

(2) 作品展示

絵画(15号以内) 書道(半紙サイズ以内)

写真(四つ切以内)

その他…版画・工芸・手芸・陶芸・彫刻

平面作品(壁面に飾ることを想定した作品、50.0×50.0cm以内)



立体作品(台置きに飾ることを想定した作品、幅×奥行き×高さの合計が150cm以内)

*応募対象者は、障がい者である個人とします。

5 その他

ステージ発表、作品の募集期間 12月3日～25日
細部は、実行委員会で決定次第広報します。

◆◆◆ サブタイトルの募集 ◆◆◆

第1回三重県障がい者芸術文化祭を表し、親しみやすいサブタイトルを広く県民の皆様から募集します。

応募方法

郵便またはFAXにて、「サブタイトル、住所、氏名、電話番号」を記載のうえ、下記まで送付してください。

締切日

平成24年8月31日(金)

*採用された方は、開会式にご招待します。

問合せ先・サブタイトル送付先

公益社団法人 三重県障害者団体連合会

〒514-0113 津市一身田大古曾670-2

☎ 059-232-6803 FAX 059-231-7182



JRジパング倶楽部(特別会員)

◎JRの窓口で障害者手帳を提示して購入した乗車券が片道・往復・連続乗車券のいずれかで201キロ以上あるとき、この特別会員になれば、2～3割引きて特急券などを買うことができます。また、第1種障害者の介護者の方が同時に買う場合にも、特急券等が割引になります。

◎特急券などは、201キロ以上の乗車券を購入されますと、201キロ以上なくても割引になります。ただし、次の料金は割引になりません。新幹線「のぞみ」の特急券・グリーン券、全ての寝台券、グリーン個室のグリーン料金、2人用・4人用個室寝台の特急・急行券、トクトクきっぷなど既に割引になっている切符類など。

◎次の期間にご乗車の場合は、ジパング倶楽部の割引は適用になりません。

4月27日～5月6日、8月11日～8月20日、12月28日～1月6日。

問合せ先

公益社団法人三重県障害者団体連合会 ジパング係
TEL 059-232-6803 FAX 059-231-7182

年会費 1,300円

特別会員 男性60歳、女性55歳

会員手帳

新規会員は、2割引券3枚、3割引券17枚、更新会員は、3割引券20枚

新規申込

会則内容をご承諾の上、身体障害者手帳の写しを必ずそえてお申込みください。

更新申込

更新手続きは、有効期限の切れる前月の1日から有効期限内となります。

有効期限を経過して手続きされた場合は、新規会員となります。(期限切れ用申込書)

申込書を受付けた日になりますので、ご注意ください。

なお、更新時には、事前に更新の連絡はいきませんので、各自で有効期限の切れる前に手続きをしてください。